

こんにちは  
日本共産党

市会議員

西野さち子です



年間16億円  
以上のムダづかい

市長を変えて、焼却灰溶融施設を廃止に!!



事故現場を調査する共産党市会議員団のみなさん

1千度の灰の塊が落下!!

職員が負傷

共産党市議団が事故現場を調査

京都市の焼却灰溶融施設2号炉で1千度の灰の塊がプールに落ちて、職員がやけどをする事故が起きました。1号炉でも11月1日と8日に同じような事故が起ったため、1号炉2号炉ともに今は止まっています。

試運転開始から2年の間に8回も事故を起こして再開のめども立っていません。日本共産党市会議員団は、負傷者が出てしまった事故現場を視察しました。さびている所や歪んでいる所もありまします。事故続きの溶融炉はいりません。動かせば3年目までは年間16億円。4年目からは年間19億4000万円にもなります。

こんなむだ使いをやめて福祉・教育・雇用を充実させるためにも、市長を変えなければなりません。一緒に市政を刷新しましょう!

原発はいばい

醍醐パレードに100人超!

12月11日、晴れ渡った日曜日、小栗栖児童公園にかざぐるまを持つ人、笛や太鼓を持つ人、「脱原発」のたすきを人、それぞれが思い思いのグッズを持って集まってきました。

「原発はいらない!」「日本から、世界から、原発をなくそう!」の声に車からクラクションや手を振る人、家の窓からも声援があり、反響の大きさ

六地蔵の王将駐車場に続く坂道に手すりがつきます!!

桃山東学区の共産党支部の皆さんが行った地域アンケートに「六地蔵の王将駐車場に続く坂道が急こう配で怖い。てすりがほしい」の声が寄せられました。早速西野さち子市議と土木事務所に要望を届けました。その結果、土木事務所から「今年度中に手すりをつける」という返事がありました。工事の事もあるので、坂道の周辺のお宅にお知らせに回りました。「よかった。ありがとう」という声とともに「駐車場と京都市の道の境目が分からないので、道のところにまで車が止まっていて危ない」という声も寄せられました。早速土木事務所に改善の要望を届けました。これからも日本共産党に願いをお寄せ下さい。



転倒する人が出るほどの急勾配。「手すりをつけてほしい」との要求が実現します。

に参加者のみなさんは、大いに元気をもらいました。醍醐折戸公園には中村和雄弁護士も参加。くらし・雇用につながるあいさつに大きな拍手が起りました。豚汁を食べながらの大声コンテストも盛り上がりました。そして被災地への支援カンパも次々と集まりました。



トラやクマの着ぐるみも登場して注目度抜群。西野市議もお孫さんといっしょに参加。元気に歩きました。